

平成22年度 事業報告書

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

I. 事業の状況

1. 助成部(一般会計)に関する事項

蛋白質に関する研究の助成及び奨励について、従来どおり下記のごとく助成を行いました。

(1) 一般研究に対する助成

大阪大学蛋白質研究所における各部門及び研究施設に対し2,594,038円の助成を行いました。

蛋白質有機化学研究室	生体反応統御研究室
細胞外マトリックス研究室	エピジェネティクス研究室
蛋白質構造形成研究室	機能構造計測学研究室
蛋白質結晶学研究室	細胞内シグナル伝達研究室
ゲノム-染色体機能研究室	神経発生制御研究室
プロテオミクス総合研究センター(5研究系)	

(2) 蛋白質に関する研究者養成に対する助成

赤堀・鈴木奨学金への応募がありませんでした。

(3) 金子・成田研究奨励金の交付

アミノ酸、ペプチド、蛋白質等に関する優れた研究に対する研究奨励金の本年度該当者は、選考委員会において選考の結果次の5名に決定し、それぞれ60万円を交付しました。

支出金額 3,000,000円

氏名	所属	研究題目
町田 幸大	兵庫県立大学大学院 工学研究科 助教	ヒト由来シャペロニン CCT の試験管内再構成法の開発
原 利明	大阪大学蛋白質研究所 蛋白質有機化学 助教	二段階酸切断リンカーを用いた難溶性・会合性ペプチドの単離精製システムの開発
千葉 秀平	東北大学大学院 生命科学研究科 助教	微小管アセチル化を制御する新規シグナル伝達物質の解明

松下 昌史	大阪大学大学院 理学研究科生物科学専攻 助教	Na ⁺ /H ⁺ 交換輸送蛋白質のイオン輸送 活性の違いが小胞内 pH の多様性を生 み出す機構の生化学的解明
栗田 ちひろ	大阪大学 蛋白質研究所 特任研究員	アフィニティートラップゲル電気泳 動法によるリン酸化タンパク質検出 技術開発

(4) 分子生物学に関する研究助成

A-IMBN・AMBO（アジア太平洋分子生物学ネットワーク・アジア分子生物学研究機構）主催の研修会が、以下の通り開催されることが決定していますが、開催準備遅延のため、平成23年度に実施することになりました。

第33回 A-IMBN・AMBO分子生物学国際研修会

日時： 未定

主催担当： Universiti Sain Malaysia

Northern Malaysia Branch of NANKA
(マレーシア・ペナン島キャンパス)

テーマ： Immunopharmaceutical Technology

(5) 蛋白質に関するセミナー・講演会等開催への助成

大阪大学蛋白質研究所等で次のとおりセミナー・講演会等を開催し、これに対して助成をしました。

セミナー

開催年月日	課 題	世 話 人
平成22年5月31日	Proteomics of neurodegenerative diseases	後藤裕児（阪大・蛋白研）
平成22年7月29日 ～30日	超高磁場が拓く生態系 NMR：最新 技術と応用	小林直宏（阪大・蛋白研） 藤原敏道（阪大・蛋白研） 児島長次郎（阪大・蛋白研） 池上貴久（阪大・蛋白研）
平成22年9月9日～ 10日	バクテリオファージ研究の可能性 と課題	松崎茂展（高知大・医） 中川敦史（阪大・蛋白研）
平成22年9月17日 ～18日	疾患と膜動態の蛋白質科学	後藤祐児（阪大・蛋白研） 桑田一夫（岐阜大・人獣感染防御） 小柴琢己（九大・理） 濱田大三（神戸大・医）

平成 22 年 10 月 6 日 ～7 日	蛋白質の機能-構造活性相関解明 のための精密構造分析とその方法 -水素原子から細胞まで-	玉田太郎 (原子力機構) 永野真吾 (鳥取大) 海野昌喜 (茨城大) 栗栖源嗣 (阪大・蛋白研) 中川敦史 (阪大・蛋白研) 鈴木守 (阪大・蛋白研)
平成 22 年 10 月 21 日 ～22 日	蛋白質の多様な相互作用 -動的機構の解明から医学的応用 まで-	石森浩一郎 (北大・院理) 渕上壮太郎 (横浜市大・生命ナノ) 鎌形清人 (東北大・多元研) 櫻井一正 (阪大・蛋白研)
平成 22 年 10 月 28 日 ～29 日	神経科学と構造生物学の融合	貝淵弘三 (名大・神経情報薬理学) 中川敦史 (阪大・蛋白研)
平成 22 年 11 月 19 日 ～20 日	ゲノム機能の記憶の成立機序とそ の制御	村上洋太 (北大・理) 田嶋正二 (阪大・蛋白研)
平成 22 年 11 月 25 日 ～26 日	蛋白質のアセチル化制御による細 胞機能の調節	堀尾嘉幸 (札幌医大) 吉川和明 (阪大・蛋白研)
平成 23 年 1 月 12 日 ～13 日	細胞表面受容体と細胞内輸送	川上政人 (高エネ機構・物構研) 三間譲治 (阪大・蛋白研) 禾 晃和 (阪大・蛋白研)
平成 23 年 2 月 17 日 ～18 日	電子顕微鏡最先端	岩崎憲治 (阪大・蛋白研)
平成 23 年 3 月 14 日 ～15 日	ペプチド研究の新潮流：発見から 応用へ	高尾敏文 (阪大・蛋白研) 南野直人 (国立循環器病センター) 杉山治夫 (阪大医 機能診断)

国際シンポジウム

開催年月日	課 題	世 話 人
平成 22 年 7 月 14 日	Cooperation in Protein Science between Asian and Pacific Countries. IPR Seminar	有坂文雄 (東工大・生命理工) 中村春木 (阪大 蛋白研) 後藤祐児 (阪大・蛋白研)
平成 22 年 12 月 10 日 ～ 11 日	The New Trend of Peptide Science in Asia and Oceania	相本三郎 (阪大・蛋白研) 川上 徹 (阪大・蛋白研) 佐藤 毅 (阪大・蛋白研) 原 利明 (阪大・蛋白研) 北条裕信 (東海大・工)
平成 23 年 3 月 4 日～ 5 日	New Era of Biosimulations with Supercomputers	中村春木 (阪大・蛋白研) 姫野龍太郎 (理研)

2. 事業部（研究支援）（収益事業会計）に関する事項

データベース利用の現状について

文献データベースは、Peptide Information (PDF 形式) の他にパーソナルコンピュータ上で利用する文献管理ソフトウェア (EndNote, GetARef) のデータ形式で配布しています。この改善により PubMed や DDBJ などの他の有用なデータベースへのリンク情報が直接利用できるようになりました。化合物データベース (PRF/SYNDB) については、CD-ROM, DVD-ROM によるデータの配布も行い、また、Windows, Macintosh で利用できるようにもなりました。英語版の検索システム及びマニュアルも準備しています。また、化合物データベース (PRF/SYNDB) をインターネットを通じた検索もできるようにしました。

今期より、新たなデータ形式として電子ブックリーダー (Kindle) に対応させることにより、Peptide Information 利用者の方々の好評を得ております。さらに、米国アマゾン社を通して、Peptide Information for Kindle を頒布することで、利用者に対して一層の利便を図っております。

当財団で構築しているすべてのデータベースは、インターネットから利用することができ、財団のホームページから、各種の検索サービスが受けられるようにしてあります。近年の傾向としてデータベースの利用は印刷物やCDよりも、インターネットに重点が移ってきております。

財団が開設している World Wide Web のサーバーを通して、文献データベース (PRF/LITDB)、配列データベース (PRF/SEQDB) および化合物データベース (PRF/SYNDB) のインターネット上での直接の利用頻度は、今年度累計で約 13,000 件でした。

データベースシステムの改善について

ペプチド及びその関連化合物に関するデータベース (PRF/SYNDB) の画像情報データを、コンピュータで利用できます。化学構造自体を画像として閲覧することができるようにしたことで、よりわかりやすいデータの提示が可能となりました。蛋白質の修飾及びペプチド中の異常アミノ酸等の情報を直接検索できるデータベース (PRF/MODDB) の作成も継続しています。また、ペプチドの成熟構造に特化した構造データベース (PRF/STRDB) の構築をはじめました。近年、蛋白質やペプチドの同定に際して質量分析が一般的な手法となってきました。また、化合物データについても分子量情報は大変重要なものとなってきましたので、当財団のデータベースにおいては、可能な限り分子量情報も格納し検索に使用できるようにしています。

検索対象となるデータベース及び検索・調査の内容に応じてリアルタイムで回答する方式と電子メールや報告書などでまとめて回答する形式を準備しています。また、データ検索に関する相談も受け付けています。蛋白質・ペプチドのアミノ酸配列検索については、従来からの配列による検索だけではなく、物性や修飾構造などで

も検索可能となっています。

データベースに関する研究協力について

平成15年度をもって終了しました文部科学省知的基盤研究「生体内ペプチドのデータベース作成の研究」については、その成果であるペプチドームデータベースの維持ならびに公開に引き続き協力しています。ペプチドームデータベースに対しては、当財団で構築している文献データベース(PRF/LITDB)、配列データベース(PRF/SEQDB)および修飾データベース(PRF/MODDB)の一部のデータを提供するだけでなく、より柔軟な検索システムの開発研究も続けております。インターネットを利用した本データベースの構築方法についての研究、及び公開方法ならびにネットワーク機構の研究も続行しています。

当財団で培われてきたコンピュータ、ネットワークに関する技術や研究成果をより多くの研究者、研究機関で役立てていただけるように、新たなデータベース構築や検索システムの開発に関して幅広い研究協力を続けています。今後も各種のデータベース構築に関する共同研究を積極的にすすめてまいります。

平成23年3月31日現在

II. 処務の概要

1. 理事・監事に関する事項

○ 理事定数 13名 任期3年 現員10名

理事 監事 の役職	氏名	常勤 非常勤の別	就任	重任	登記年月日 (新任・重任 のみ)	担当職務	現職名
			就任年月日	重任年月日			
理事長	木村皓俊	非常勤	H18.7.10	H21.7.10	H21.7.25	総括	(株)ペプチド研究所代表取締役会長
常務理事	黒坂雅基	常勤	H19.7.10	H22.7.10	H22.7.10	財務	(財)蛋白質研究奨励会主事
理事	相本三郎	非常勤	H20.8.10		H20.8.11		大阪大学蛋白質研究所教授
〃	川面克行	〃	H17.8.25	H22.8.25	H22.8.25		アサヒビール(株)常務取締役研究開発本部長
	倉橋 潔	〃	S60.7.25	H21.7.25	H21.7.27		大阪大学名誉教授
〃	榊原俊平	〃	S46.6.15	H22.8.25	H22.8.25		(株)ペプチド研究所名誉会長
〃	白神 浩	〃	H22.8.25		H22.8.25		味の素(株)アミノサイエンス事業開発部長
〃	高木俊夫	〃	H22.8.10	H20.8.10	H20.8.11		大阪大学名誉教授
〃	田中隆治	〃	H15.7.25	H21.7.25	H21.7.27		サントリー(株)技術監
〃	鷺田清一	〃	H19.8.25	H21.8.25	H21.8.25		大阪大学総長

○ 監事定数 2名 任期3年: 現員2名

理事 監事 の役職	氏名	常勤 非常勤 の別	就任	重任	登記年月日 (新任・重任 のみ)	担当職務	現職名
監事	大川滋紀	非常勤	H20.8.10				武田薬品工業(株) 医薬研究本部長
〃	唐沢啓	〃	H22.8.25				協和発酵キリン(株) 渉外部長

2. 評議員に関する事項

○ 評議員定数 25名 任期3年 現員14名

氏名	就任年月日	重任年月日	現職名
池中徳治	S56.7.30	H20.7.30	大阪大学名誉教授
石崎順	H22.8.25		塩野義製薬(株)創薬・探索研究所所長
大水博	H19.8.25	H22.8.25	田辺三菱製薬(株)執行役員・研究本部副本部長
加藤正夫	H19.8.25	H22.8.25	アステラス製薬(株)研究本部専務理事
金岡昌治	H22.8.25		大日本住友製薬(株)執行役員・研究本部長
才野哲之	H22.8.25		日本化薬(株)顧問
常見雅彦	H22.1.1		(株)ペプチド研究所 取締役
西畑利明	H16.8.25	H22.8.25	参天製薬(株)常務執行役員・研究開発本部長
長谷俊治	H9.8.25	H21.8.25	大阪大学蛋白質研究所 所長
松田昭生	H19.8.25	H22.8.25	旭化成ファーマ(株)医薬研究センター長
松宮孝明	H22.8.25		大阪大学蛋白質研究所事務長
吉川和明	H13.8.25	H22.8.25	大阪大学蛋白質研究所教授
吉松賢太郎	H22.8.25		エーザイ(株)常務執行役・サイエンティフィック クオフィサー
渡邊卓司	H22.1.1		(株)ペプチド研究所 取締役

3. 賛助会員及び会費に関する事項

総合計 3,700,000円

関西地区 7社 年会費計 1,650,000円

会 員 名	年 会 費 (円)
大塚製薬株式会社	200,000
参天製薬株式会社	150,000
塩野義製薬株式会社	200,000
大日本住友製薬株式会社	200,000
武田薬品工業株式会社	300,000
田辺三菱製薬株式会社	300,000
株式会社ペプチド研究所	300,000

関東地方 9社 年会費計 2,050,000円

会 員 名	年 会 費 (円)
旭化成ファーマ株式会社	300,000
味の素株式会社	300,000
アサヒビール株式会社	200,000
アステラス製薬株式会社	200,000
エーザイ株式会社	300,000
株式会社カネカ	100,000
第一三共株式会社	300,000
トーアエイヨー株式会社	150,000
持田製薬株式会社	200,000

<p style="text-align: center;">理 事 会</p>	<p>平成 22 年 6 月 14 日（月）</p>	<p>第 1 号議案 平成 21 年度事業報告書及 び収支決算書の承認</p> <p>第 2 号議案 評議員の選出について</p> <p>第 3 号議案 評議員会の決議事項につ き省略</p> <p>第 4 号議案 議事録署名人の選任につ いて</p>	<p>承認された。</p> <p>大水、加藤、西畑、松田、 吉川、吉松評議員の重任 と、滝田、古屋評議員の辞 任、また、花崎評議員の辞 任と後任に石崎順氏、古谷 評議員の辞任と後任に金 岡昌治氏、美濃越評議員の 辞任と後任に松宮孝明氏 及び才野哲之氏の評議員 への新任について、いずれ も承認された。</p> <p>相本三郎、黒坂雅基両理事 を選出した。</p>
--	----------------------------	--	---

区分	開催年月日	議事事項	結 果
評 議 員 会	平成 22 年 3 月 29 日（月）	第 1 号議案 理事会の決議事項につき省略	
		第 2 号議案 平成 22 年度事業計画書及び 収支予算書の承認	承認された。
		第 3 号議案 監事の交代について	水上監事の辞任と後任に協和 発酵キリン（株）渉外部長唐 沢啓氏の就任を承認した。
		第 4 号議案 新公益法人制度への移行方 針について	新公益法人制度について説 明と一般財団法人（非営利型 財団）への移行申請について 承認された。
		第 5 号議案 議事録署名人の選任につい て	長谷俊治、美濃越進、両評議 員を選出した。
	平成 22 年 6 月 14 日（月）	第 1 号議案 平成 21 年度事業報告書及び 収支決算の承認	承認された。
		第 2 号議案 理事会の決議事項につき省略	
		第 3 号議案 理事の選出について	黒坂、川面、榊原理事の重任 及び飯谷理事の退任と後任に 白神浩氏を、又唐沢監事の重 任について、承認された。
	第 4 号議案 議事録署名人の選任につい て	吉川和明、常見雅彦氏を選出 した。	

5. 許可・認可・承認・証明等に関する事項
なし

6. 契約に関する事項
なし

7. 寄付に関する事項
総件数:2件

(単位:円)

寄 付 者	寄 付 の 目 的	受 入 金 額
(寄付金) 味の素株式会社 アミノ酸カンパニー アミノサイエンス研究所	糖及び糖ペプチドの製法開 発研究助成のため	800,000
(株) ペプチド研究所	当財団事業目的遂行のため	6,000,000
計2件		6,800,000